

2021 年度教員免許更新講習シラバス（法政大学）

1. 午前

講習名称とテーマ	【選択】国語科「文学教育（古典・近代）と国語教育」 文学教育と言語教育、教材としての「小説」
開講日時	2021 年 8 月 27 日 9:30~10:50、11:00~12:20
受講対象者	中・高教員 ※小学校も可
担当教員	中丸 宣明
担当教員の紹介	文学部日本文学科教授。「ゼミナール入門」「文学概論」などを担当。
到達目標	国語教育における文学教材の意味を再吟味するとともに、ここ二〇年ぐらいの文学研究の動向を理解する。
講習内容	国語教育において、コミュニケーション能力ないし言語表現能力の養成を目的とする言語教育が、重要視されるようになって久しいが、一方で言語教育と文学教育との関係、文学教育の意味づけが見えにくくなっている。本講義では近年の文学研究の動向を視野に入れつつ、文学教育の可能性について再考を試みる。
履修認定方法と基準	講習への出席基準を満たすこと、及び、講習内容を踏まえた論述試験に合格すること。
テキスト	プリント教材他
参考書	特に定めず、講義時に指示
受講者への連絡事項	文学教材の授業経験での問題点を整理しておいてください。
著書	『円朝全集 第三巻』（共著、岩波書店、2013.3） 『新日本古典文学大系 明治編 17』（共著、岩波書店、2006.10）

2. 午後

講習名称とテーマ	【選択】国語科「文学教育（古典・近代）と国語教育」 古典文学の魅力を伝える
開講日時	2021年8月27日（金） 13:20～14:40、14:50～16:10
受講対象者	中・高教員 ※小学校も可
担当教員	小秋元 段
担当教員の紹介	文学部日本文学科教授。「日本文芸史Ⅰ」「日本文芸研究特講（中世）」などを担当。
到達目標	古典の面白さを生徒に実感してもらうためには、作品成立の時代に立って、解釈を示す必要があります。本講義ではその際の着眼点の見つけ方、授業への展開について理解を深めることを目標とします。
講習内容	日本の伝統文化の教育が重視される傾向が強まるなか、古典文学の魅力をいかに伝えてゆくかという点も、教師にとっては大きな課題となっています。古典作品は、成立したその時には、新鮮な現代文学だったはずです。ならば、同時代的な理解を重視することを心がければ、作品の魅力はより伝わりやすくなるのではないのでしょうか。本講義では、『平家物語』と『古今和歌集』『新古今和歌集』の三作品をとりあげ、これらのどこが新鮮なのか、魅力的なのかを考えてゆきます。
履修認定方法と基準	講習への出席基準を満たすこと、及び、講習内容を踏まえた論述試験に合格すること。
テキスト	プリント教材他
参考書	須藤敬『古文教材の考察と実践—教育と研究のフィールドをつないで』（おうふう、2014年）
受講者への連絡事項	特になし。
著書	『太平記・梅松論の研究』（汲古書院、2005年） 『増補太平記と古活字版の時代』（新典社、2018年）ほか。